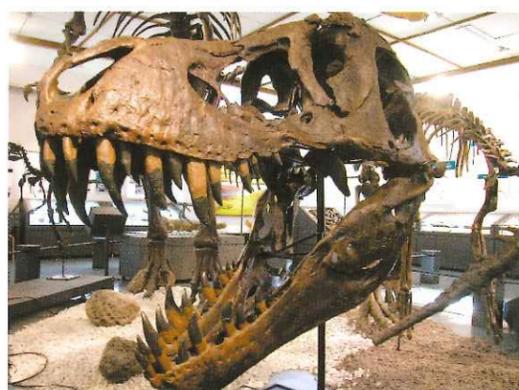


**展示資料紹介** **ティラノサウルス レックス**  
*Tyrannosaurus rex* Osborn, 1905

ティラノサウルス (*T.rex*) は、今から約6500年前の北アメリカに生息していました。最近では、全長14メートルに達するものも見つかっています。

当館に展示してある標本は、アメリカのサウスダコタ州で発見された「スタン」という愛称で知られているティラノサウルスの頭骨のレプリカです。

「スタン」は、発見者の名前にちなんだニックネームで、全身の60パーセント以上の骨が発掘されており、原標本は、サウスダコタ州にある、ブラックヒルズ古生物博物館が所蔵しています。



ティラノサウルス「スタン」の頭骨

**お知らせ**

**授業や行事で博物館を活用してみませんか？**

当館では、博物館と学校との連携の方法を模索しております。特に総合的な学習と博物館での学びのねらいは共通する部分があると思います。これまで、多くの学校でご活用いただきてまいりましたが、さらに効果的な活用の方法を研究していきたいと考えております。

また、博物館のスタッフが地域や学校にお伺いする移動博物館講座もおこなっております。学校だけでなく、子ども会やサークルなどでも積極的にご活用ください。

博物館で体験できる内容やこれまでの活用例をご紹介します。

**博物館体験活動メニュー**

- 恐竜のおりがみ (30分)
- 化石のレプリカづくり\* (1時間)
- アンモナイトの断面標本づくり\* (2時間)
- 化石採集 (2時間30分\*\*)

\*材料費とカルチャーセンター使用料が必要になります。  
 \*\*野外活動。移動を含めた時間です。

**豆知識** **なぜひとかけらの化石から恐竜の姿がわかるのか？**

「こんな小さいかけらで、どうしてこれが恐竜だとわかるの?」。展示室でこんな声がよく聞こえてきます。確かに、誰もその生きていた姿を見たことがない生物を小さい化石のかけらをもとに、自信ありげに解説してあるのですから、そんなふうに思われるのも当然だと思います。



昔は、まだ地質や化石に関する情報が少なく、概念も発達していなかったため、科学者でさえたくさん間違いを繰り返してきました。しかし、人々は長い年月をかけて、たくさんの化石を発見し、どんな時代にどんな生物がいたかという情報を蓄積してきました。

最近では、このようにして集められた情報と照らし合わせることで、ある程度種類を絞り込むことができるようになってきました。

たとえば、有名なミフネリュウは、歯の化石が1個しか発見されていませんが、その特徴から、アロサウルスやティラノサウルスなどが含まれる獣脚類という仲間にも属する恐竜であることが確実だと見られています。また、全長と歯の大きさの関係から全長10メートル前後であると推定されています。しかし、その真偽は、将来発見される化石によって確かめられていくことなのです。

**これまでの実践例**

- |            |   |                                     |
|------------|---|-------------------------------------|
| <b>中学生</b> | 理科「大地の変化」「生物のつながり」「選択理科」                        | 野外観察、T.T. 資料貸出、T.T. レプリカづくり、講話 調べ学習 |
| <b>6年生</b> | 理科「土地のつくり」                                      | 地層の観察(野外学習) 調べ学習 メールでの質問など T.T.     |
| <b>5年生</b> | 宿泊訓練の入所前の午前中を活用して博物館見学や化石採集。流れる水の動きに関する野外学習も可能。 |                                     |
| <b>4年生</b> | 国語「恐竜をさぐる」との関連。通潤橋とセットで見学旅行コースとして利用。            |                                     |

この他にも、総合的な学習、国語・社会科・図工などの授業で活用されています。

# Dinosaur Topics



## ティラノサウルスがやってきた！ 博物館前に復元模型完成！



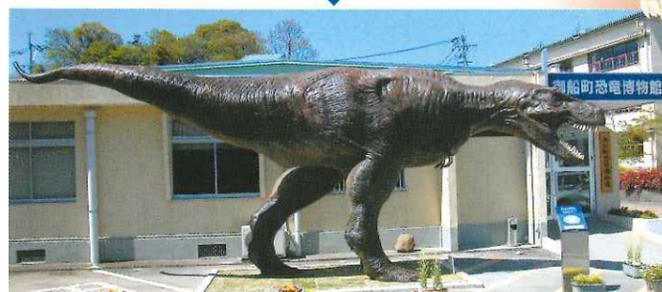
工場内で骨格の組み立て



頭部を粘土で製作する



博物館前で組み立て



完成

当館は大きな建物に囲まれた立地条件もあり、開館当初から、近くまで来ても博物館がどの建物かよくわからないというご意見を来館者の方々から数多くいただいております。

ぼんやりと見ていても目にとびこんでくる大きな体は、他の物件で役場やカルチャーセンターやスポーツセンターを訪れた人に御船の恐竜のことを知らせるきっかけになるはずです。

模型は、全長10メートルの復元模型です。博物館のスタッフと造形を担当するプロのスタッフが打ち合わせをかさねながら、骨格図から復元図を描き、肉付けをして製作したものです。材質は強化プラスチックで、かなりの耐久性があります。30年を過ぎている博物館の建物よりも間違いなく長持ちするはずですので、将来的にこの建物が博物館として使用されなくなっても移設ができるように考えてつくられています。

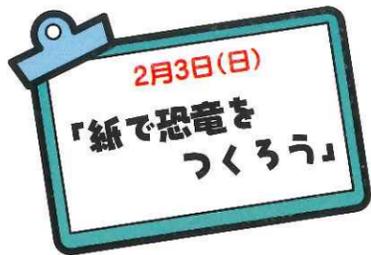
博物館を知らせるためのサインを単なるモニュメントや看板にしなかったのは、博物館の入口に、館のテーマを象徴するインパクトのある展示があったら、人々を引きつけ、未知の世界への探求心を自然と掻き立てるのではないかと考えたからです。

模型の前に立つと「でっかいなー、これ実物大?」とか「オスカな?メスカな?」とか

自然に頭の中にいろいろな疑問が浮かんでくるはず。自然に頭に浮かんできた謎をとくのは楽しいですね。

これから、このティラノサウルスも、ここを訪れる多くの人々に、御船の大地の不思議とそこに眠る仲間たちのメッセージを伝えてくれることでしょう。





今年度の7回目のセミナーは50名の参加があり、ファイバー紙で「ティラノサウルス」を作りました。恐竜を型取ったファイバー紙

を、20分ほど水につけて柔らかくし、タオルで軽く水分を取り、硬くならないうちに形を整えます。ある参加者の男の子は、「ぼくだけのティラノサウルスができた!」と、自慢げ。あるお母さんは、「ファイバー紙って初めてで、四苦八苦して作ったけど、親の方が楽しかったです!」と、久しぶりの紙工作に満足そうでした。また、あるお母さんは、「家で、もう一度水につけてから挑戦してみます。親子で楽しかったです」と、教室を後にされました。ファイバー紙を水につけている間に、おりがみで3種類の恐竜もつくりました。

今回使ったこのファイバー紙、バルカナイズド・ファイバーという素材で、原材料はセルロース。100年以上前から電機線の絶縁部やトランクなど、いろいろなところに用いられてきた素材です。最近では、ラップの歯の部分に金属のかわりに用いられたりしているのをよく見かけるようになりました。燃やしても、有害物質を発生しない環境にやさしい素材だそうです。



お母さん大奮闘!



やっとできた!



ボクだけのティラノサウルスだよ!



アンモナイトの内部は、どのようになっているか知っていますか?

モロッコ産のアンモナイトをサンドペーパーで研磨して内部構造を

調べるセミナーに、48名の参加がありました。

まず、アンモナイトの内部の予想図を描いてもらい実習に入りました。一番粗いサンドペーパーで、アンモナイトを水につけながら半分近くまで研磨します。たった数ミリの厚さを削るだけですが、けっこう指先と腕に力が入ります。「手がいたー!」と言いながらも夢中になってアンモナイトとにらめっこする子どもたちの姿が印象的でした。

内部(気室・隔壁)が見えてきた時点で、アンモナイトとオウムガイと巻き貝の内部構造のちがいなどを、博物館の資料をつかって確認しました。自分がつくったアンモナイトの標本を顕微鏡でのぞき、「わあ!すごい。こんなに面白いなんて知りませんでした。最初に描いた図が恥ずかしいです(笑)。でも自分の手で確かめたことはずっと忘れませんね。」とお母さん。ほとんどの人が知らないような小さな自然の神秘を、今自分の手で発見したのですから、とても素晴らしいことだと思います。

目の細かいサンドペーパーで仕上げた後、希望する人はうらにピンをつけてアンモナイトのバッジを作りました。アンモナイトのおみやげといっしょに、わたしたちの身のまわりにあるたくさんの不思議をひもとく楽しみも持ち帰ってもらえたようでした。



こんなに becoming んだ!?



好奇心200%



当館は、旧町立武道館を改装してオープンしましたが、トイレは以前のまま男女共用でした。どれだけ掃除をしても、便器の中まで手をつこんで洗っても、夏になると臭うのです。施設の古さを考えるとトイレを改修するべきかどうか最後まで議論がありました。しかし、このままでは、せっかく来館された方々にも気持ちよくすごしていただくことはできないと考え、トイレの改修工事を計画しました。

しかし、限られたスペースに、「誰もが気持ちよく使えるトイレ」をつくるのは、そう簡単ではありません。あーでもない、こーでもないといく度も配置図を作り直し、ようやく今のカタチに落ち着いたのです。

男性・女性ともバリアフリーのトイレです。男性用・女性用ともおむつ交換専用シート・こども専用イスも取り付けました。

### 博物館への手紙

当館には、町内はもちろん県内外からの来館者があります。多くの方から温かい励ましのお言葉やご意見、ご感想などをいただいております。その中から一通のお手紙をご紹介します。

#### 前略

過日は御船町恐竜博物館の資料や案内を送付していただきまして本当にありがとうございました。休みを利用して、子供達と貴館に立ち寄りさせていただきました。小規模ながら充実した展示で、しかも1つ1つ興味をもって見られるような工夫が丁寧なされていて、親子ともども楽しませていただきました。恐竜のビデオや恐竜を扱ったたくさんのお本(子供達の好きなドラえもんや怪けつゾロリにも恐竜編があったことをはじめとして)も、小学生の子供達にも恐竜の模型など、どれもこれも御船町の皆さんが、この博物館にいかにか愛情をもってかかっているのか、その思いの深さが伝ってくるようで心をうたれました。それまで恐竜のことは何も知らなかった私さえも、おかげさまで恐竜に興味をもつようになりました。子供達も余程うれしかったらしく、今年の夏休みの自由研究は恐竜の研究をしようとい出して、恐竜図鑑(何年も本棚に眠っていた本です!!)をとり出して、ノートに恐竜の絵と説明文を書きはじめました。彼らの図鑑の最後の項目は「日本にいた恐竜」で、ミフネリュウの話もちょっとだけ出てきます。子供達の勉強がすすんでこのページに到着する頃には、きっと日本の恐竜がどんなに珍しいものかわかることなのでしょう。その竜が自分たちの訪ねた御船町にいたことを知ったら、さぞ驚き、よろこぶことでしょう。楽しみです。御親切に博物館の道案内や行事予定まで知らせていただきまして本当にありがとうございました。親子で楽しめるテーマがみつかりまして心から感謝しております。御船の恐竜博物館がますますたくさんの方の心をとらえてくれることを心からお祈り申し上げます。

かしこ 宮崎市学園木花台南 油屋 順子

## インタビュー

### 「ボクが考える博物館とは」

本田 貴嗣 くん(御船小学校6年)



Q 恐竜や化石のことは好きですか?

A はい。大好きです。

Q どんなことがおもしろいと思いますか?

A 楽しみながら恐竜や化石の知識がわかるのでおもしろい。

Q 恐竜博物館に来たことがありますか?

A はい、あります。無料の時はいつも行っていただけ、有料になってからは、お金がいるからあまり行かなくなった。無料になってほしい。

Q どんなことが心にのこっていますか?

A パソコンで楽しんだり、化石にさわられたり、展示室にはおどろきがある。全身骨格やティラノサウルスの頭骨にはびっくりした。御船で恐竜が発見されているけど、頭骨がでたら(発掘できたら)すごいと思う。

Q 他の博物館に行ったことがありますか?

A はい。熊本博物館に行ったことがあります。

Q どんなことがおもしろかった?

A いろんなものがあって説明がくわしく書いてあったのでよかったです。

Q 博物館はどんな場所にあると良いですか?

A 学校の近くや施設の近くが、勉強する時にいいです。

### 来館者紹介

#### 木倉小3年生のみなさん

2月2日、木倉小学校3年生(20名)が総合的な学習の一環で来館しました。テーマは「恐竜を探れ!」です。それぞれが持っていた課題について質問して学芸員の解説をノートに書き込んだり、まとめるときに必要な写真を撮ったりパネルの図を写したりして展示室でひとりひとりが積極的に活動していました。



### 平成14年度の行事の予定

サンデーセミナー・ティーチャーズセミナー・ミュージアムフェスタは参加申し込みが必要です。1ヶ月前から参加の申し込みを受け付けます。

#### サンデーセミナー

4月 21日(日)	貝の化石からおおむかしのことを読みとろう
8月 3・4日(土・日)	お泊まり博物館
8月 25日(日)	恐竜化石発掘調査見学会
11月 17日(日)	ミュージアムトーク(講演会)
12月 8日(日)	恐竜の不思議
2月 2日(日)	ペーパークラブ(紙で恐竜をつくる)
3月 23日(日)	アンモナイトの内部構造

#### 土曜日だ博物館に行こう!

5月 25日(土)	「レプリカづくり(三葉虫)」
6月 15日(土)	「レプリカづくり(腕足貝)」
9月 7日(土)	「レプリカづくり(三角貝)」
10月 19日(土)	「レプリカづくり(アンモナイト)」
11月 30日(土)	「レプリカづくり(恐竜の歯)」
12月 21日(土)	「レプリカづくり(ピカリア)」
3月 15日(土)	「レプリカづくり(哺乳類の歯)」

●当日先着20名。毎回種類のちがう化石のレプリカをつくって生物の進化や生活の様子について学びます。  
●年間として参加すると、化石レプリカのコレクションができあがります。

#### ティーチャーズセミナー

7月 28日(日) 「総合的な学習に使える恐竜ネタ」

#### ミュージアムフェスタ

7月 21日(日) 「恐竜の郷みふね夏休み化石教室」